

令和4年度主催事業秋の史跡巡りin英彦山

- 期日：令和4年11月3日（木）
- 開催場所：奉幣殿、財蔵坊、座主院、花駅周辺
- 参加者：23名（大人：21名、小学生1名、中学生：1名）
- 目標：国指定史跡である英彦山において、様々な史跡を巡り、文化や歴史に触れることにより、豊かな感性、郷土に親しむ心を育む。

【於：財蔵坊】

最初に、英彦山の歴史に関する説明をしました。

財蔵坊は、昔、修験者が暮らしていた家です。また、英彦山ガラガラの絵付け体験では、参加者が様々なアレンジで赤色や青色の絵付けを楽しみました。

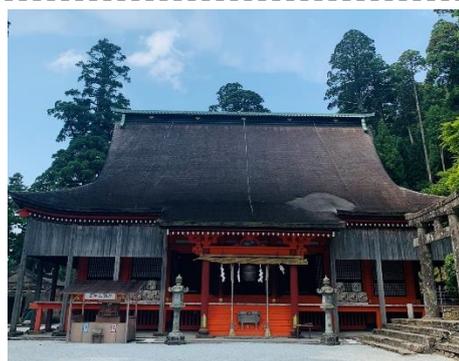


【於：英彦山神宮（奉幣殿）】

英彦山神宮（奉幣殿）の建立についての説明をしました。

小倉の大名・細川忠興によって建て直された赤色の本殿を見て、参加者は、その大きさと迫力に驚きました。

その後、参拝や写真撮影、社務所内でお守りを受け取ったり御朱印を記帳したりしました。



【於：座主院】

座主院の史跡説明をしました。

座主院とは、最高権力者の住まいで、特別な許可を取り、見学しました。修験者等が作った立派な城壁や階段、庭園跡を見て、「当時の生活風景を想像し、建築技術の高さと立派さに感嘆しました。」などの感想を頂きました。



【肖像：九州大学了承済】

【全体を通して】

秋も深まり、美しい季節となりました。全員が英彦山の紅葉を目にしながら、歴史散策を楽しむ事ができました。参加者からは、「子どもに貴重な経験ができました。」「英彦山に沢山の史跡があることに気付きました。」「とても楽しかった。また、参加したいです。」などの声を聞くことができ、楽しいひと時となる事業となりました。